

2015 年度春 Semester 授業評価（中間評価）結果

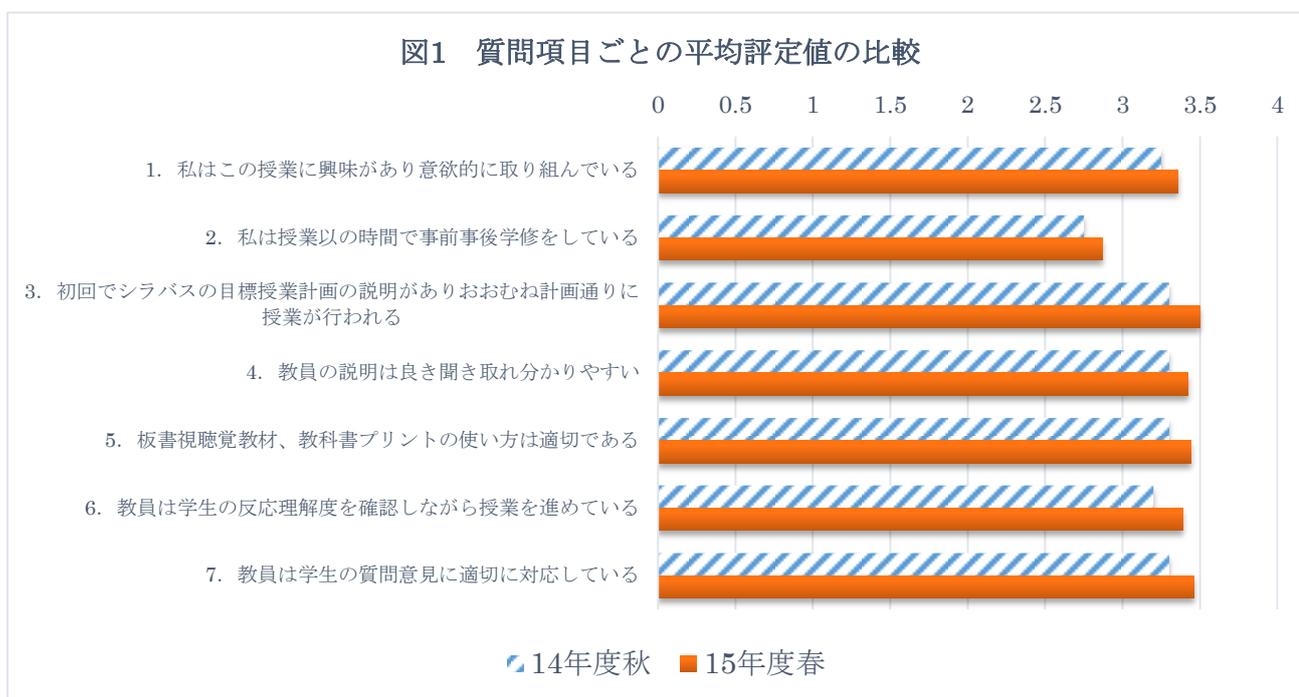
1. 実施率

表 1 2015 年度春 Semester 授業評価（中間実施）率

	専任教員担当科目 実施率（14 秋セメ）	非常勤教員担当科目 実施率（14 秋セメ）	授業評価コメント 入力実施率
共通科目	58/59 96.9 (75%)	100% (100%)	37.7%
看護学部	49/49 100 (90)	100 (100)	78.0
社会福祉学部	78/80 97.5 (85)	100 (100)	85.3
リハビリテーション学部	68/68 100 (94)	100 (100)	76.3
	201/282 (87)	100 (100)	71.3

- ・ 中間時の授業評価の実施率は、前年度秋 Semester に比べて開講科目数が多いが上昇している。特に、共通科目と社会福祉学部の実施率の上昇は著しい。実施率の上昇理由として、FD 委員会の啓発および 14 年度 7 月施行の授業評価実施規程化によって、教員の意識が変わり実施率の向上につながったと思われる。
- ・ 授業評価実施率の上昇に対し、授業評価のコメントへの入力率は、共通科目以外は 7 割から 8 割の実施率であった。コメント未入力科目の多くは、非常勤教員担当科目、またはオムニバス形式や演習科目であった。これらから、今後も引き続きコメント入力を促す働きかけを行う。

2. 授業評価結果



評価票の評価について「そう思う」（4点）から「そう思わない（1点）」と得点を与え、質問項目毎に平均評定値を算出した（図1）

- ・ 15 年度春 Semester の全体傾向として、Q2 を除く 6 項目で 3.3 以上という結果であり、中間時点の授業評価を取り入れた（対象科目は異なるが）14 年度秋 Semester と比較し若干上昇している。
- ・ Q2 の事前事後学修の遂行のポイントの低さは、14 年度秋 Semester の授業評価結果と比べ、若干上昇したものの、項目中もっと低い評点は同様の傾向を示している。今後は一層、事前・事後学修の遂行のため、または主体的学修の育成や向上への対策が必要である。